

1. 第3次朝来市総合計画改訂版の概要

2. 改訂において重視した点 (将来像実現に向けて必要な考え方)

朝来市が目指す将来像

人と人がつながり
幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～

① まちづくりの原動力は「つながり」

- ・ 市民相互のつながり（地域力）
- ・ 市民と市内外の多様な（人・企業・団体との）つながり

→ 新しい動きが生まれる。

② 新しい動きが「幸せ」を生む

- ・ つながりから生まれた挑戦や活動、声掛けや応援もまちの力に

→ 市民一人一人の幸せにつながる。さらには、その幸せが周囲にも広がる。

③ 「対話」を通じて

- ・ 社会情勢が目まぐるしく変化、多くのことが転換期

→ 市民、市議会及び行政が、対話によって相互理解し、未来を切り拓く。

政策指標と人口指標

■総合計画で示す「幸せ」の意味

第3次朝来市総合計画の「幸せ」

≠ happiness（ワクワクするなど短い時間の感情）

= **ウェルビーイング（Wellbeing）**

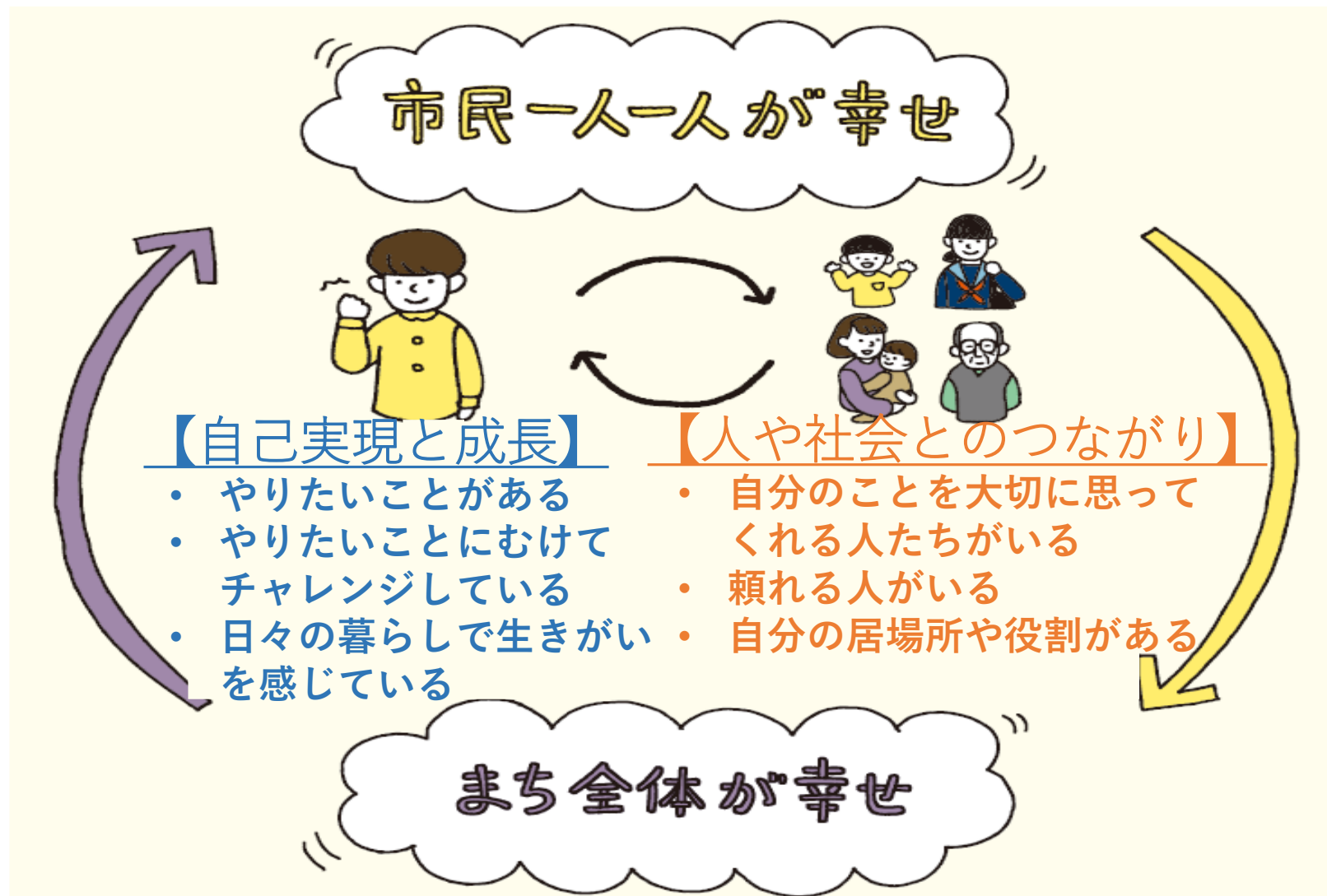
ウェルビーイング（Wellbeing）とは...

こころ・からだ・社会的に満たされた状態

社会の中で孤立せずに他者と良い関係を持つことができ、自分の居場所や役割を持つことのできる社会

政策指標と人口指標

■市民一人一人の姿 幸せの好循環のイメージ



1. 第3次朝来市総合計画改訂版の概要
2. 改訂において重視した点
(将来像実現に向けて必要な考え方)

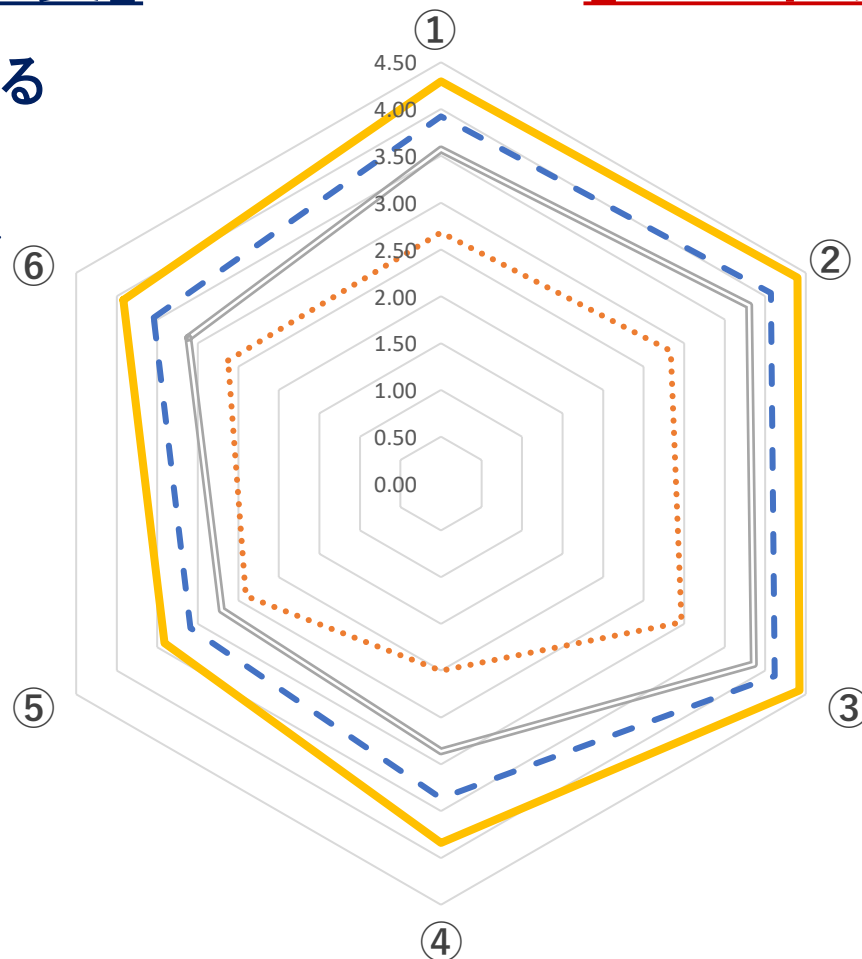
(1) 市民参画の強化 ①政策指標考え方（市民アンケート結果から）

【自己実現と成長】

- ① やりたいことがある
- ② やりたいことに
むけてチャレンジ
している
- ③ 日々の暮らしで
生きがいを
感じている

【人や社会とのつながり】

- ④ 自分のことを
大切に思って
くれる人たちが
いる
- ⑤ 頼れる人がいる
- ⑥ 自分の居場所や
役割がある



- 朝来市平均
- ... 幸福度0~3
- = 幸福度4~6
- 幸福度7~10

(1) 市民参画の強化 ②政策指標考え方（あさご未来会議の対話結果から）

■あさご未来会議参加者の対話前後の気持ちの変化（※数値が高いほど、前向きな気持ちへと変化）

年代	対話前	対話後	比較
全体	3.85	4.76	0.91
10代	3.63	4.79	1.17
20代	4.33	4.89	0.56
30代	4.08	5.00	0.92
40代	4.17	4.67	0.50
50代	4.06	4.89	0.83
60代	3.44	4.67	1.22
70代以上	3.55	4.39	0.85

誘ってもらえたから
参加できた

一緒にやろうよ

協力するよ！

悩んだ時に市職員が
寄り添ってくれた

こんなに頑張っ
ている人があるんだ

対話がいい時間
だった

応援するよ！

自分もチャレンジ
してみよう！

野菜やお菓子を
買って応援！

素敵な出会いが
あった

理解が深まった

地域の人が相談に
応じてくれた

こんな対話の場が
あることを知らな
かった



参加者の皆さんから

(1) 市民参画の強化 ③対話、アンケート結果等を踏まえて

幸福度が高い人は、

「自己実現と成長」

と 「人や社会とのつながり」 が高い

「やりたい」
(Will)を実現

「やりたい」の実現をつうじて
人や社会のつながりが育まれる

市民参加・市民参画

まち・地域で、「やりたい」(Will)
を大切にし、私・私たちのやりたい
を実現

- 
- ・ 私も、私たちも、まちも幸せ
 - ・ 持続可能なまちづくり

市民一人一人の朝来市民の幸福度 (Wellbeing) の向上
(政策指標の向上)

将来像の実現

(2) 若者視点

若者視点の取組・連携イメージ

同じ世代（属性）と
つながりたい

自分らしい生き方・
暮らし方が実現できる

環境づくり

共働きや核家族、兼業や副業などライフ
スタイルや働き方が多様化しています。仕
事もプライベートも充実し、自分らしい生
き方や働き方ができる環境をつくります。



コーディネートして
くれる人がほしい

SNSや動画を活用して
周知してほしい

組み合わせ
掛け合わせ

別の事業ともコラボ

まちの活動や みんなの想いがつながる 仕組み

朝来市にはさまざまな地域や市民の活動、
関連する行政施策があります。地域・世代・
分野・立場を超えて、まちの活動やみんな
の想いがつながる仕組みをつくります。

組み合わせ
掛け合わせ

企画段階から
協力した

つながる場があれば
参加したい

様々な人がつながる 場づくり

いろんな世代・属性・ジェンダー・国籍の
人々も暮らすようになり、価値観も多様
化してきました。気軽に集い、ゆるやかに
つながることができる場をつくります。



地域で 遊ぶ・知る・学ぶ 機会づくり

朝来市には豊かな自然環境のほか、地
域や暮らす人にも魅力があります。こど
もも大人も、多様な世代が身近な地域
で遊び、知り、学ぶ機会をつくります。



小・中・高校生も
協力できる！

組み合わせ
掛け合わせ

市民の皆さん（特に若者や女性）に「住みたい」「住み続けたい」と
思われるまちを目指す

地域力の維持・向上 ⇒ 人口減少を抑制

第1回
第2回
第3回
テーマを伝える

2回目以降は前回のまとめを入れる
「地域」「仕事」それぞれ

地域のコミュニティが大変だから帰らないっていう若者意見がある
何が負担なのか
「イメージ」のところ
「実情のところ
もある

「日役最悪・・・」イメージ先行の例
負担のイメージ

いい部分)
綺麗になる
情報共有できる
会話→安心感につながる もとめても響かない
楽しい大人の姿を見せる